



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月22日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 石塚 久継
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 財務部長（氏名） 山下 登（TEL） 0587-37-2111
半期報告書提出予定日 2026年10月30日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月21日～2026年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	30,796	0.1	2,446	△15.9	2,506	△4.8	1,897	5.8
2026年3月期中間期	30,769	6.8	2,909	16.1	2,633	△4.8	1,792	△7.8

（注）包括利益 2027年3月期中間期 3,276百万円（ 55.1%） 2026年3月期中間期 2,111百万円（ 24.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	454.38	—
2026年3月期中間期	427.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	103,068	42,333	39.5	9,721.52
2026年3月期	99,995	39,292	37.8	9,058.73

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 40,723百万円 2026年3月期 37,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2027年3月期	—	—			
2027年3月期（予想）			—	72.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年3月21日～2027年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	4.2	3,500	△15.9	3,200	△17.6	2,150	△17.9	514.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	4,219,554株	2026年3月期	4,219,554株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期中間期	30,512株	2026年3月期	49,410株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2027年3月期中間期	4,175,539株	2026年3月期中間期	4,190,903株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益は堅調に推移する見込みですが、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりにより引き続きエネルギー価格の上昇が見込まれ、円安基調の長期化や金利上昇に伴う個人消費への影響など依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、「モノづくり」を通じて体質を強化し、多少の荒波が生じてでも難なく乗り越えられる経営基盤を確立するため、長期的な視点で会社の方向を示す「ISHIZUKA GROUP 2030」を2022年4月に公表しました。これまでの事業環境の変化を踏まえ、2025年4月に見直しを行い、それに基づく2027年度を最終年度とする3か年の中期経営計画「新たな領域への挑戦」を策定しております。この中期経営計画では、①2027年度までに連結営業利益5,000百万円の達成、②中堅若手人財の躍動と視座高き人財の充実、③2027年度CO2排出量 Scope 1 + Scope 2 30%削減(2020年度対比)、④ペーパーレス化の推進・アナログ作業からの脱却(ラクの追求)を重点ポイントとしております。

業績につきましては、プラスチック容器関連事業が減収となりましたが、ハウスウェア関連事業の増収などにより、30,796百万円(前年同期比0.1%増)となりました。利益につきましては、企業活動における様々なコスト上昇の影響により、営業利益2,446百万円(前年同期比15.9%減)、経常利益2,506百万円(前年同期比4.8%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産(遊休地)の売却による特別利益の計上もあり、1,897百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<包装容器関連セグメント>

・ガラスびん関連事業

ガラスびんは、物価高による買い控えなどの影響により出荷量が減少し、売上高は5,364百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

・紙容器関連事業

紙容器は、出荷量が堅調に推移したことに加え販売価格改定の取り組みにより、売上高は4,829百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

・プラスチック容器関連事業

PETボトル用ブリフォームは、長引く天候不順の影響で受注が減少したことに加え、費用の変化に伴う販売単価の見直しもあり、売上高は8,639百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、企業向けの景品案件の獲得などにより堅調に推移しました。陶磁器は、国内の受注が堅調に推移し、また海外向けも増収となり、セグメント全体の売上高は6,937百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

<産業マテリアル関連事業>

抗菌剤は、原材料価格の高騰に伴う販売価格の改定等により出荷量が減少しました。調理器具向けガラストッププレートは品種構成の変化により減収となり、セグメント全体の売上高は2,131百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

<その他事業>

パウチ飲料充填事業の出荷量が増加したことなどにより、セグメント全体の売上高は2,893百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,073百万円増加し、103,068百万円となりました。また、負債合計は31百万円増加し、60,734百万円となりました。資産の主な要因は、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。負債の主な要因は、支払手形及び買掛金が増加しましたが、流動負債その他(未払金)並びに有利子負債が減少したことによるものです。

純資産合計は利益剰余金(親会社株主に帰属する中間純利益)並びにその他有価証券評価差額金の増加により3,041百万円増加し、42,333百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は39.5%(前連結会計年度末は37.8%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,330百万円増加し、4,274百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、5,116百万円(前年同期は5,315百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前中間純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,169百万円(前年同期は3,619百万円の資金減少)となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,657百万円(前年同期は2,341百万円の資金減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出及び長期未払金の返済による支出によるものです。一方、資金増加の主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当中間連結会計期間 (2026年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,973	4,313
受取手形及び売掛金	16,939	19,069
電子記録債権	4,098	4,086
商品及び製品	10,250	10,413
仕掛品	774	760
原材料及び貯蔵品	4,116	4,011
有償受給に係る資産	4,172	3,903
その他	2,765	1,642
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	46,083	48,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,420	11,077
機械装置及び運搬具(純額)	10,832	10,302
土地	15,327	15,242
その他(純額)	6,705	6,961
有形固定資産合計	44,285	43,584
無形固定資産	108	119
投資その他の資産		
投資有価証券	7,869	9,610
その他	1,620	1,544
貸倒引当金	△29	△27
投資その他の資産合計	9,460	11,127
固定資産合計	53,855	54,831
繰延資産	56	43
資産合計	99,995	103,068

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当中間連結会計期間 (2026年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,954	13,254
短期借入金	3,714	4,638
1年内償還予定の社債	1,477	2,084
未払法人税等	587	645
賞与引当金	753	823
その他	8,526	7,398
流動負債合計	26,012	28,844
固定負債		
社債	4,820	4,150
長期借入金	12,778	10,850
汚染負荷量引当金	345	336
退職給付に係る負債	4,141	4,081
その他	12,602	12,471
固定負債合計	34,689	31,890
負債合計	60,702	60,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,689	4,680
利益剰余金	16,532	18,114
自己株式	△173	△107
株主資本合計	27,392	29,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,858	5,050
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	5,174	5,197
為替換算調整勘定	△100	△90
退職給付に係る調整累計額	1,450	1,533
その他の包括利益累計額合計	10,383	11,692
非支配株主持分	1,516	1,610
純資産合計	39,292	42,333
負債純資産合計	99,995	103,068

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
売上高	30,769	30,796
売上原価	22,205	22,651
売上総利益	8,564	8,144
販売費及び一般管理費	5,654	5,697
営業利益	2,909	2,446
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	131	140
受取賃貸料	163	161
その他	83	189
営業外収益合計	383	498
営業外費用		
支払利息	210	211
為替差損	183	-
賃貸収入原価	112	117
その他	152	109
営業外費用合計	659	438
経常利益	2,633	2,506
特別利益		
固定資産売却益	-	291
特別利益合計	-	291
特別損失		
固定資産除却損	47	-
特別損失合計	47	-
税金等調整前中間純利益	2,585	2,798
法人税、住民税及び事業税	543	530
法人税等調整額	157	276
法人税等合計	700	806
中間純利益	1,884	1,991
非支配株主に帰属する中間純利益	92	94
親会社株主に帰属する中間純利益	1,792	1,897

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
中間純利益	1,884	1,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	407	1,192
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△0	10
土地再評価差額金	△152	-
退職給付に係る調整額	△28	83
その他の包括利益合計	226	1,284
中間包括利益	2,111	3,276
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,019	3,182
非支配株主に係る中間包括利益	92	94

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,585	2,798
減価償却費	2,432	2,442
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	63	68
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	-
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△9	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	△90
株式報酬費用	8	27
受取利息及び受取配当金	△135	△148
支払利息	210	211
為替差損益(△は益)	184	△72
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△293
売上債権の増減額(△は増加)	△4,268	△2,123
棚卸資産の増減額(△は増加)	△33	△32
未収入金の増減額(△は増加)	1,217	331
前渡金の増減額(△は増加)	△24	△18
仕入債務の増減額(△は減少)	2,387	2,295
未払費用の増減額(△は減少)	231	413
その他	1,048	△164
小計	5,887	5,637
利息及び配当金の受取額	137	146
利息の支払額	△213	△207
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△495	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,315	5,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,437	△2,615
有形固定資産の売却による収入	105	396
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
投資有価証券の売却による収入	35	43
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	8	3
解体撤去費用の支出	△278	-
その他	△42	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,619	△2,169

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,686	△16
長期借入れによる収入	700	50
長期借入金の返済による支出	△2,312	△1,038
社債の償還による支出	△1,738	△63
セール・アンド・リースバックによる収入	-	820
セール・アンド・割賦バックによる収入	906	-
リース債務の返済による支出	△405	△414
長期未払金の返済による支出	△903	△702
配当金の支払額	△271	△291
非支配株主への配当金の支払額	-	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,341	△1,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△728	1,330
現金及び現金同等物の期首残高	4,871	2,943
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,143	4,274

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注 3)
	包装容器関連				ハウ ス ウ ェ ア 関 連	産 業 マ テ リ ア ル 関 連	計				
	ガラ ス び ん 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	小計							
売上高											
外部顧客への 売上高	5, 442	4, 734	9, 128	19, 305	6, 581	2, 256	28, 142	2, 626	30, 769	—	30, 769
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	104	104	—	—	104	2, 524	2, 629	△2, 629	—
計	5, 442	4, 734	9, 232	19, 409	6, 581	2, 256	28, 247	5, 151	33, 398	△2, 629	30, 769
セグメント利益	470	293	1, 255	2, 019	381	452	2, 853	56	2, 909	△0	2, 909

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円には、棚卸資産の調整額0百万円、その他△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器関連				ハウ ス ウ ェ ア 関 連	産 業 マ テ リ ア ル 関 連	計				
	ガラ ス び ん 関 連	紙容 器 関 連	プラ ス チック 容 器 関 連	小計							
売上高											
外部顧客への 売上高	5,364	4,829	8,639	18,833	6,937	2,131	27,902	2,893	30,796	—	30,796
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	89	89	—	—	89	2,510	2,599	△2,599	—
計	5,364	4,829	8,728	18,922	6,937	2,131	27,991	5,404	33,395	△2,599	30,796
セグメント利益	263	280	1,189	1,732	305	382	2,420	25	2,446	△0	2,446

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△0百万円には、棚卸資産の調整額1百万円、その他△1百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項
前連結会計年度末より報告セグメントの見直しを行い、従来の「ガラスびん関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「紙容器関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「産業器材関連事業」から、「包装容器関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「産業マテリアル関連事業」に変更しております。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。